



2024年7月10日

各位

会社名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大平 厚
(コード番号 6289 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 田内 剛
(TEL 088-846-2933)

2024年8月期 第3四半期決算説明資料に関するお知らせ

2024年8月期第3四半期の決算概要および2024年8月期の通期業績予想等の説明資料を作成いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

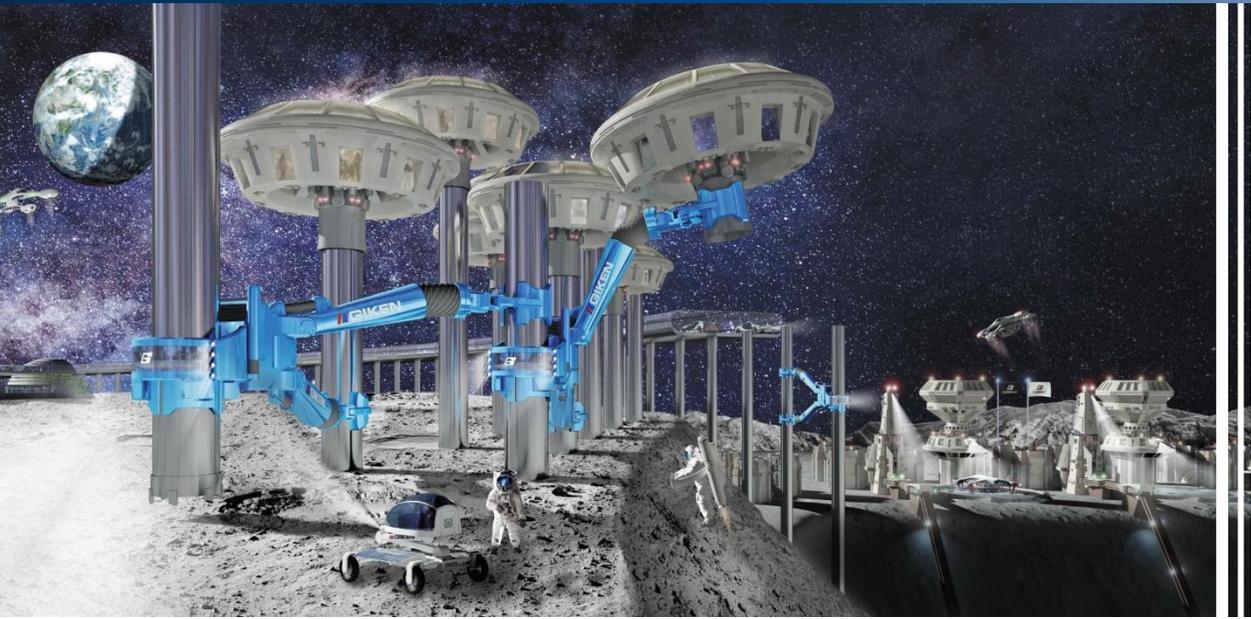
以上

GIKEN

Construction Revolution



2024年8月期第3四半期(2023年9月~2024年5月)



株式会社 技研製作所 決算説明資料

2024年7月10日
証券コード:6289

将来見通しに関する注意事項

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界並びに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

2024年8月期第3四半期 決算概要

業績推移

単位：百万円

	2022/8期	2023/8期		2024/8期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	3Q累計実績	前年同期比
売上高	20,768	21,196	+2.1%	22,133	+4.4%
売上総利益 (粗利率)	8,195 (39.5%)	7,951 (37.5%)	▲3.0%	8,363 (37.8%)	+5.2%
営業利益 (営業利益率)	3,174 (15.3%)	2,176 (10.3%)	▲31.4%	2,837 (12.8%)	+30.4%
経常利益	3,315	2,253	▲32.0%	3,132	+39.0%
四半期純利益※1	2,200	223※2	▲89.9%	2,218	+894.5%
1株当たり 四半期純利益	80.05円	8.11円	▲89.9%	82.78円	+920.7%

※1 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※2 2023年8月期第3四半期は、特別損失として関係会社整理損1,367百万円を計上しております。

国内、海外売上比較

単位：百万円

	2022/8期	2023/8期		2024/8期	
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	3Q累計実績	前年同期比
売上高	20,768	21,196	+2.1%	22,133	+4.4%
国内売上	16,834	18,044	+7.2%	19,351	+7.2%
海外売上	3,934	3,151	▲19.9%	2,782	▲11.7%
海外比率	18.9%	14.9%	▲4.0%pt	12.6%	▲2.3%pt

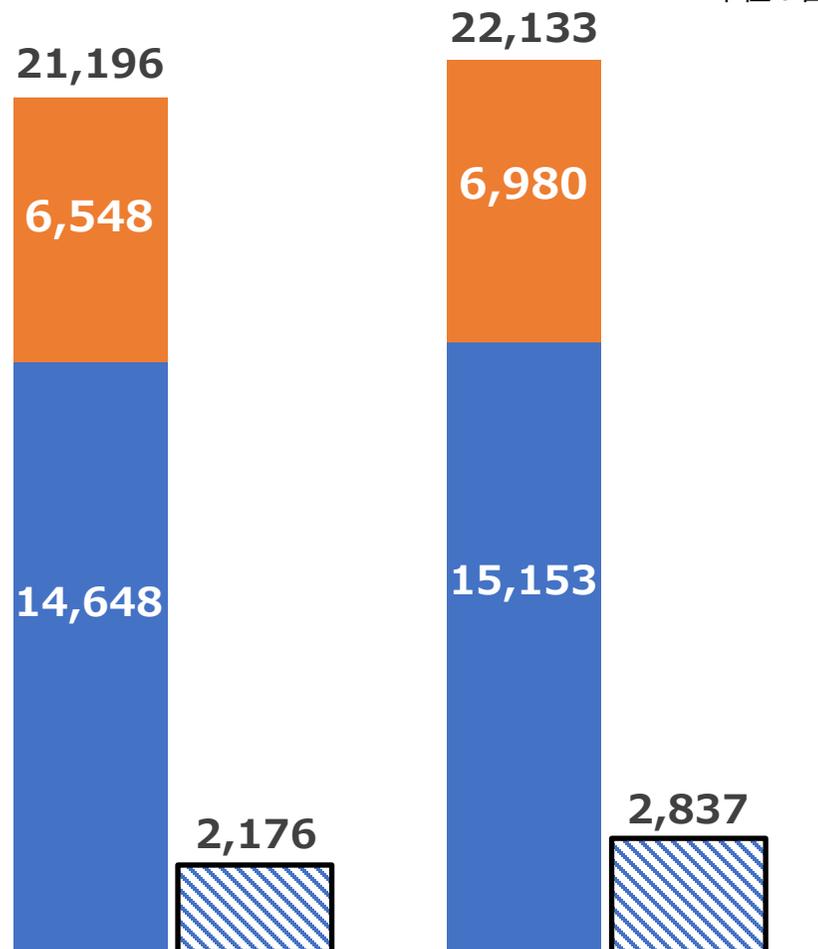
(注) 2023年6月より海外連結子会社が1社減少

売上高・営業利益 — 前年実績比較

23年8月期
3Q累計実績

24年8月期
3Q累計実績

単位：百万円



■ 建設機械事業売上高 ■ 営業利益
■ 圧入工事事業売上高

【売上高変動要因】

- 建設機械事業
 - ⊕海外の製品販売が大幅に増加
 - ⊖建設資材価格の高騰等が大型特殊機の販売に影響
- 圧入工事事業
 - ⊕災害復興、国土強靱化等で工事を順調に受注
 - ⊖2023年6月に海外連結子会社1社減

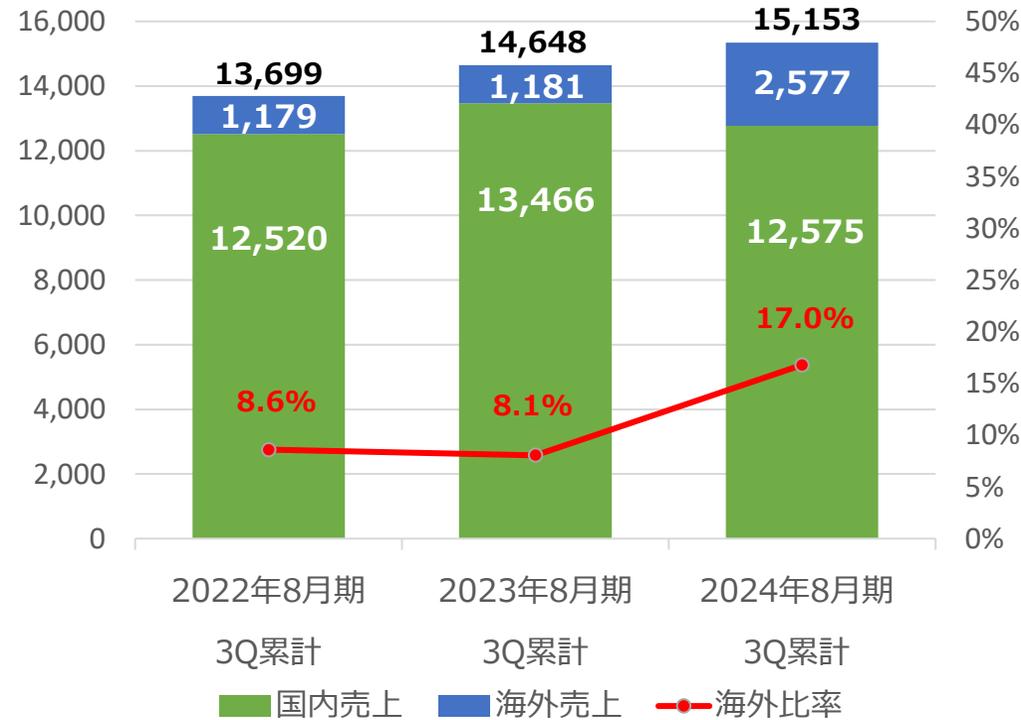
【営業利益変動要因】

- ⊕建設機械事業において、売上増に加え、上期に利益率の高い製品販売があったことにより粗利が増加
- ⊕米国事業縮小等による販管費の減少

セグメント別売上高推移

建設機械事業

単位：百万円

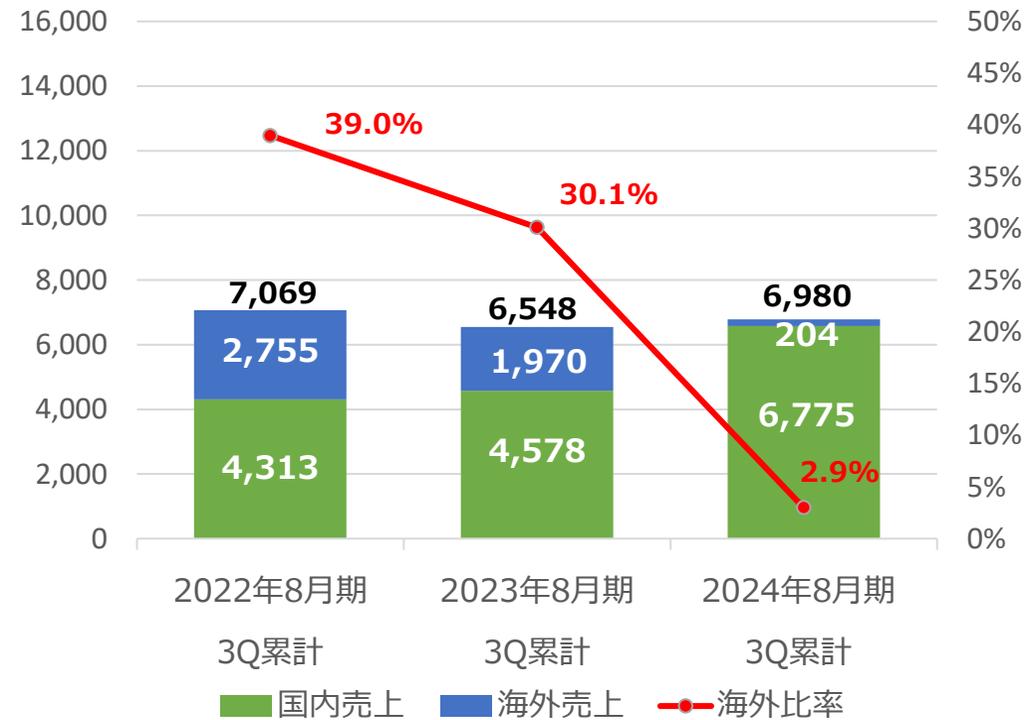


【売上高の変動要因：3Q（3-5月）】

- 国内：⊕硬質地盤対応機「F112」など一般機の販売が順調
 ⊖建設資材価格の高騰等が大型特殊機の販売に影響
- 海外：⊕台湾のユーザーに一般機を納入
 ⊕都市化等に伴う無公害工法のニーズの高まりからマカオ最大手の基礎工事会社に一般機を納入
 ⊕インドネシアのODA案件で硬質地盤対応機を納入
 ⊕ブラジルにおける製品売上の計上

圧入工事事業

単位：百万円



【売上高の変動要因：3Q（3-5月）】

- 国内：⊕災害復興、国土強靱化等で工事を順調に受注
- 海外：⊖2023年6月の連結子会社1社減によるオセアニア地域での売上減少

セグメント別営業利益推移

建設機械事業

単位：百万円

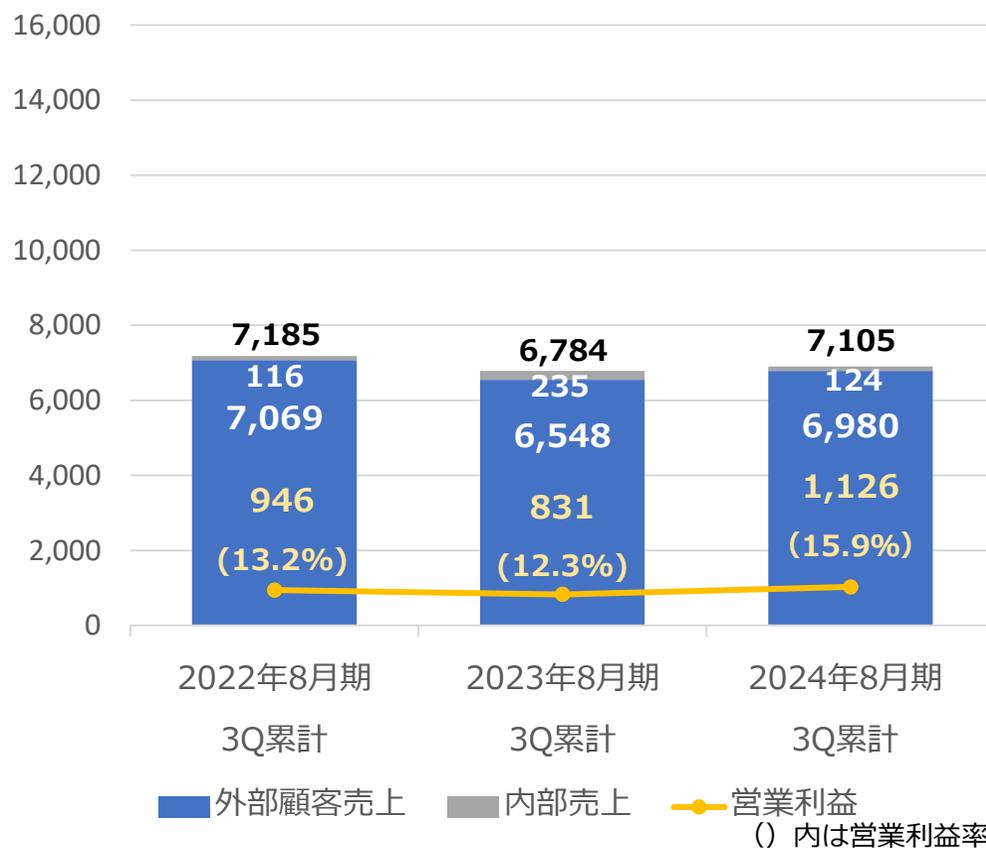


【利益率の変動要因：3Q（3-5月）】

- ⊕前期に実施した製品価格の改定が寄与
- ⊖粗利率の高い大型特殊機の販売減
- ⊕開発計画の変更による試験研究費の減少

圧入工事事業

単位：百万円



【利益率の変動要因：3Q（3-5月）】

- ⊕粗利率の高い案件を堅調に受注

2024年8月期 業績予想

業績予想

単位：百万円

	2024/8期				
	1Q(9-11月) 実績	2Q(12-2月) 実績	3Q(3-5月) 実績	4Q(6-8月) 予想	通期予想
売上高	7,418	8,117	6,598	7,866	30,000
営業利益	1,198	1,219	420	462	3,300
経常利益	1,265	1,324	542	267	3,400
当期純利益※	872	977	368	181	2,400
1株当たり 当期純利益	32.49円	36.52円	13.76円	6.91円	89.68円

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

国内、海外事業の進捗

令和6年能登半島地震で崩落した「のと里山海道」の緊急復旧工事に採用 技研施工が交通を妨げることなく土留め壁を急速構築

GRBシステム®による“仮設レス施工”で
現況交通を維持したまま工事



ユーザーも複数の工区で工事受注。早期復旧に貢献

海外 — 現状と今後の方針

技研のビジネスモデルを各国で構築

圧入市場の創出：技研力を活用した提案で圧入技術の適用を前提とし、ニーズに対応した案件市場を創出

圧入業界の成長：圧入市場の拡大および社会課題を解決する高付加価値の技術提供を通じ、圧入施工を担う業界を拡大

市場形成が軌道に乗りつつある地域

■ヨーロッパ地域

- ✓オランダにおいて、アムステルダム市の世界遺産の運河護岸改修PJ（商業化フェーズに移行）のほか、デルタプログラムの一環で実施される河川堤防の補強工事等で市場形成が進捗
- ✓既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け欧州版GTOSS「GTOSS EUROPE」を開始
- ✓業務提携協定を結ぶSeika Sangyo GmbH（本社：ドイツ）と工法普及の取り組みを推進

■アジア地域

- ✓タイで河川護岸整備等で市場づくりが順調
- ✓インドでは2022年8月期に獲得したユーザーが施工継続中。市場拡大へ市場調査開始
- ✓中国でパートナー企業と連携した市場拡大が順調
- ✓台湾でも建設公害に対する意識の高まり等を背景に市場形成が進捗
- ✓ODA市場の拡充

その他の地域

■北米

- ✓地域の特徴を生かした圧入市場拡大戦略の再構築に向けて市場調査および詳細な分析を実施
- ✓既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け「GTOSS North America」を開始

■南米

- ✓ブラジルでのビジネス構築に向け、JICA支援を受けて三井物産株式会社と共に事業計画を策定（2024年末を目途）し、これを基に圧入需要のあるインフラに今後技術提案する

GIKENのビジネスモデルを浸透させ、ヨーロッパ、アジア地域を軸に安定成長する市場構造を確立
これを軸にGIKENのビジネスモデルに基づく具体的な行動を各国で実行。海外展開を加速

建機レンタル最大手の株式会社アクティオと合同で4月、台湾にて「フライホイール式パイルオーガ」を用いた「硬質地盤クリア工法」のデモンストレーションを実施



硬質地盤が多い台湾北部での活躍を期待。建設関係者100人超が視察



Construction Revolution

Implant method change the Worldwide Construction